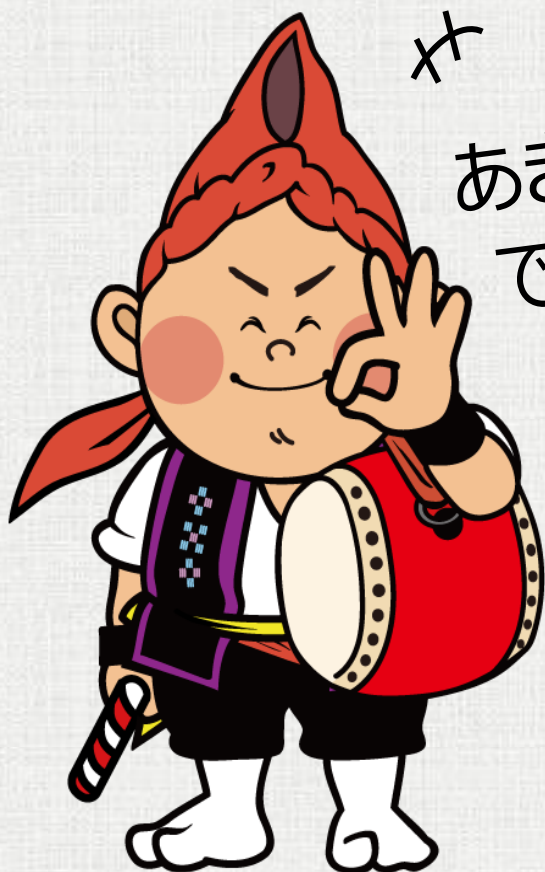


令和3年度

でーじわかりやすい！ よさんのはなし



✪ あきさみよー！
でえーじ
わかり
✪ やすいやっさ〜！
✪

エイ坊
(沖縄市エイサーキャラクター)

令和4年2月

沖縄市

でーじわかりやすい！よさんのはなし

も く じ

1. 「よさん」って何? **1**
2. 一般会計のはなし【収入編】 **3**
3. 一般会計のはなし【支出編】 **5**
4. 特別会計のはなし **7**
5. 今年のまちづくり **8**
6. よさんが分かった♪ **22**

1. 「よさん」って何??

エイサーのまち宣言

日直さーちゃん

6
月
13
日
木

「よさん」って何のことかわかるかのお？
漢字で書くと「予算」。少し難しいイメージもあるし、
自分には関係ないと思うだろう？
しかしこの「予算」というものは、わしらの生活にと
ても身近なもので大事なもののじゃ。
だから、少し「予算」について勉強をしてみよう。



エイ坊



さなじい

Question!!



で、「予算」って何なの？



「予算」とは、1年間の「収入」（入ってくるお金のこと）と
「支出」（使うお金のこと）を計画してまとめたものじゃ。

みんなの生活を豊かにするために、市役所が色々な仕事を行うた
めには、1年間でどれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金が
使えるかを、しっかりと計画しないとイケないのじゃ。



「予算」はどうやって決めるの？



市役所の担当者が、市民みんなの意見や提案などを聞いた上で、
市長と一緒に話し合いながら、1年間に行う市民への行政サービス
をしっかりと考えて、そのサービスに必要な予算の案を作るのじゃ。

そうして出来上がった予算案を、市長が「沖縄市議会」に提案
し、市議会議員のみなさんとしっかりと話し合いを行って、そこで
認められれば正式な予算として決まるのじゃ。

市長も市議会議員も、選挙によって選ばれた人たちなので、市民
の代表者が、沖縄市の「予算」を決めているということじゃな。

Question!!



沖縄市の「予算」はいくらなの？



今年の沖縄市の予算額は次のとおりじゃ。（令和3年度）

① 一般会計予算	782億9900万円
② 特別会計予算	364億8738万円
合計額	1147億8638万円



「一般会計」と「特別会計」って？



沖縄市の「予算」には、「一般会計」と「特別会計」の2種類の予算があるのじゃな。

少し難しくなるが、それぞれの説明は次のとおりじゃ。

- ◎一般会計 → 福祉や教育、道路の整備など、市役所の基本的なサービスを行うための予算
- ◎特別会計 → 特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算（詳しくは7ページ）



ここまで「予算」について、いろいろ勉強してきたが、まだまだ分からないことがたくさんあるじゃろう。

次のページからは、「一般会計」の予算の内容について、もう少し詳しく勉強してみよう！！

少しずつ
わかってきたやっさ～



2. 一般会計のはなし 【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



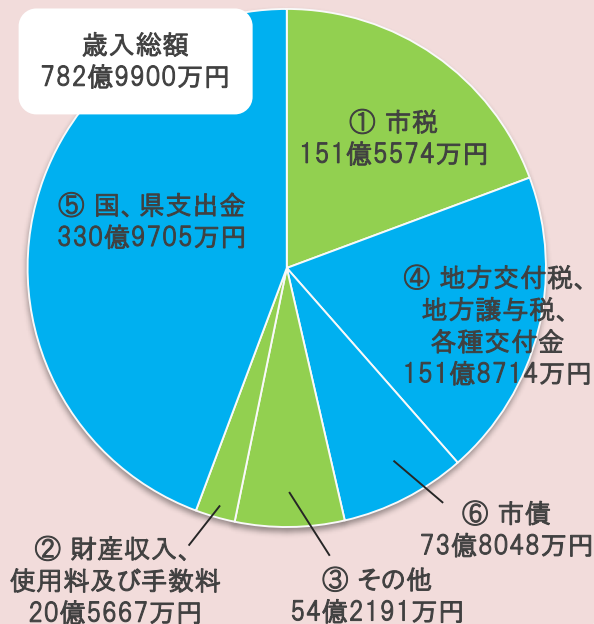
収入ってなんだったっけ??



収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年の一般会計の歳入予算をみてみよう。

令和3年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明

財源	項目	説明
自主財源	①市税	市民が沖縄市に収める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。使いみちは市で決めることができます。
	⑤国、県支出金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。国や県からの支援であり使いみちが決まっています。
	⑥市債	国や民間の金融機関などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で782億円余りのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金のことじゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ〜く分かったよ♪

借金（市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、そういうことじゃな。



でも、借金しちゃって大丈夫なの！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

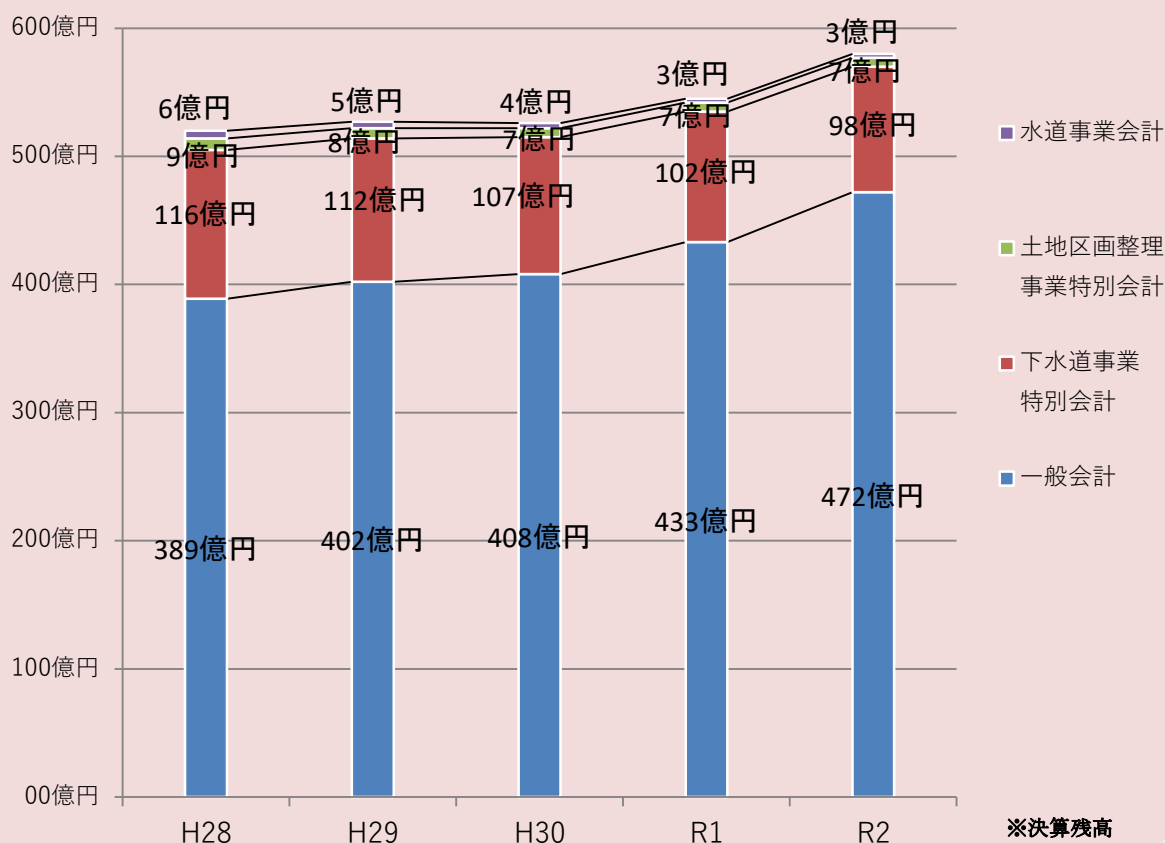
その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もの長い間みんなでするものだから、今使う人だけじゃなくて、これからあと使う人も含めてみんなで平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

借りたお金は、これまた何十年という期間をかけて返していくのじゃ。



なるほど！借金をするにはちゃんとした理由があるんだね！納得したよ♪

市債残高の状況



3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？ でていくお金だよな？

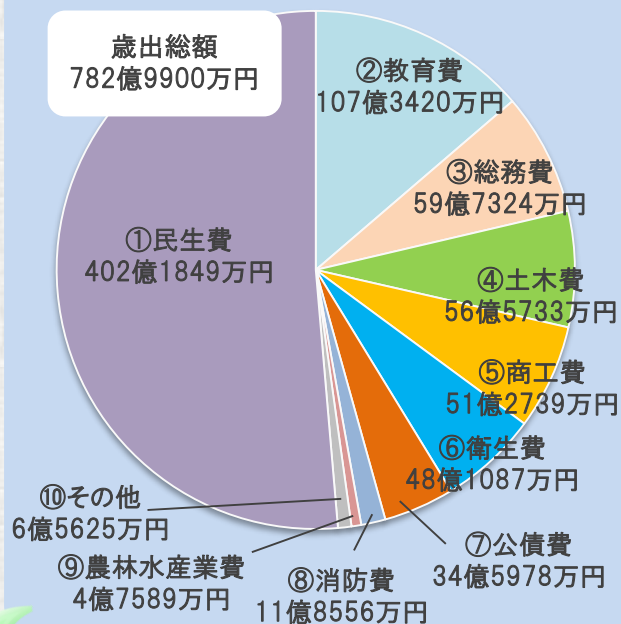


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けている「目的別」の歳出予算をみてみよう！

令和3年度 一般会計歳出予算(目的別)



歳出（目的別）の各項目の説明

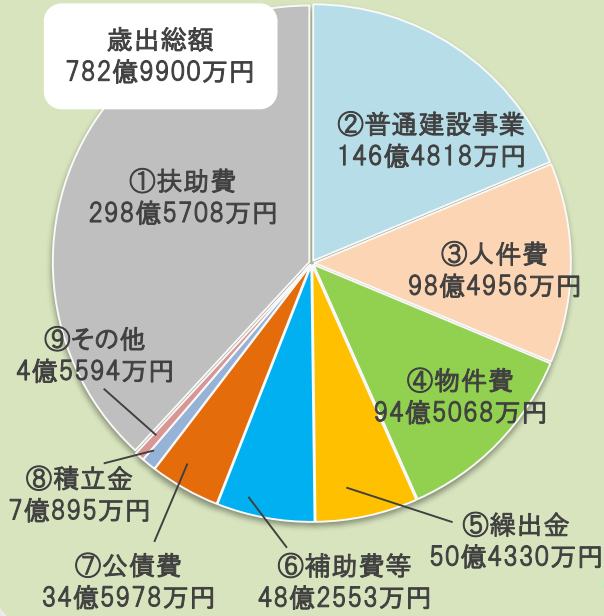
①民生費	子どもや高齢者、障がい者などが安心して生活を送るために使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営などに使うお金です。
③総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営するためのお金です。
④土木費	道路や公園、市営住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
⑤商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
⑥衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑦公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守るために使うお金です。
⑨農林水産業費	農業・畜産業・漁業などの支援のために使うお金です。
⑩その他	他にも「議会費（議員のみなさんの給料など）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧するための費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、子どもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

令和3年度 一般会計歳出予算(性質別)



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？
なんだか分かりにくいなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金などお金の使いみちが同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

① 扶助費	医療や福祉など、生活を助けるための支援にかかるお金です。
② 普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
③ 人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
④ 物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
⑤ 繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑥ 補助費等	他の団体への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑦ 公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑧ 積立金	特定の目的のためにある市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑨ その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となったことにかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているのか、どのようなことに力を注いでいるのかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民のために行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪

4. 特別会計のはなし

特別会計の種類と今年予算額について



さて、次は「特別会計」のはなしじゃ。



特別会計ってのは確か…「特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算」だったよね。何で分けて管理するの？



分けて管理する理由を簡単に言うと、その特定の仕事をする時に、他の仕事に使うお金とは分けて管理した方が分かりやすかったり、仕事の責任が明確になるからじゃ。

沖縄市が特別会計として管理している予算は次のとおりじゃ。

土地区画整理事業特別会計

予算額：2億7842万円

美里第二地区の土地区画整理事業（道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業）を行うための会計

国民健康保険事業特別会計

予算額：157億5341万円

国民健康保険制度（国民を対象として、病気や怪我、出産、死亡に関して、必要な保険料が給付される制度）を運営するための会計

介護保険事業特別会計

予算額：99億4930万円

介護保険制度（介護が必要な高齢者などの生活の支援や、介護にかかる費用を社会全体で支える制度）を運営するための会計

後期高齢者医療事業特別会計

予算額：14億5437万円

後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者などの医療費を社会全体で支える制度）を運営するための会計

下水道事業会計

予算額：45億1075万円

公共下水道の整備や管理など、下水道に関する仕事を行うための会計

水道事業会計

予算額：45億4113万円

沖縄市水道局が行う水道に関する仕事を行うための会計

特別会計も
わかった！



5. 今年のまちづくり

沖縄市のまちづくりについて

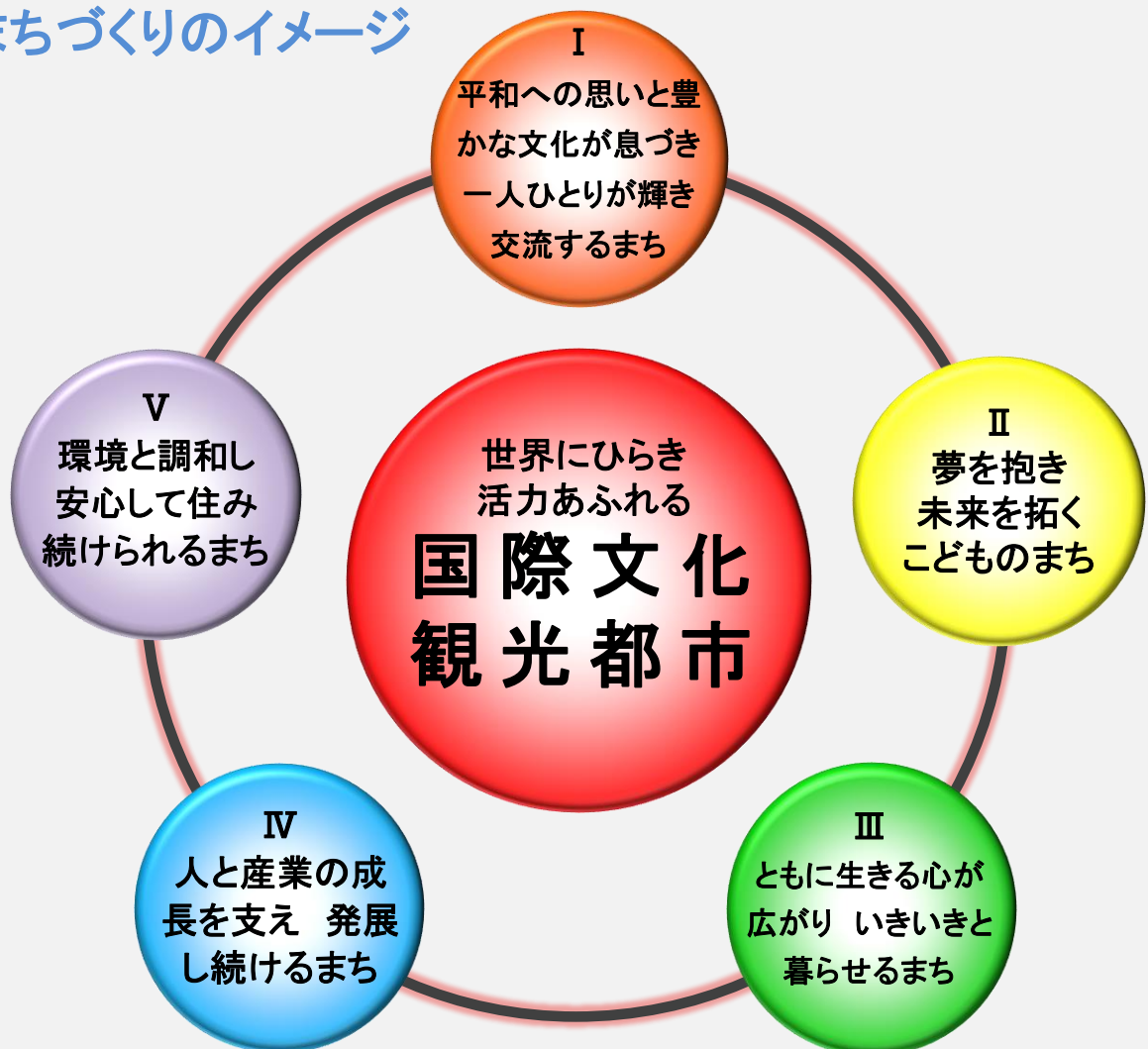


それじゃあ、これまで勉強した沖縄市の予算がどのような事に使われるのか、具体的な例を見るとしよう。沖縄市では「国際文化観光都市」を宣言していて、「平和で豊かな沖縄市」、「健康で美しい沖縄市」、「明るくて住みよい沖縄市」を市民の願い、望み、そして目標としているのじゃよ。



そうなんだ！なんだか、夢や希望が湧いてくるようまちづくりをめざしているんだね！ますます沖縄市が大好きになりそうだよ♪

まちづくりのイメージ



戦後文化資料等展示事業（予算額：約2615万円）

沖縄市は個性的な戦後史を歩み、ユニークな歴史文化を育んできました。この歴史文化をまちづくりに活かそうと、「沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート（以下、ヒストリート）」をパルミラ通りからコザ・ゲート通りへ移転しています。ヒストリートでは、戦後沖縄市の歩みを紹介した常設展と企画展（年に数回）を開催しています。戦後情報誌「KOZABUNKA BOX」やヒストリーのガイドブック、Webヒストリート、リーフレットの多言語化により沖縄市の戦後歴史文化情報を発信し、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、国内外の観光客等を中心市街地に誘客し、活性化を図ります。



文化芸能推進事業 (予算額：約2338万円)

文化芸能にふれる機会を市民に提供することにより、個性豊かな市民文化を高めるための事業です。

文化芸能に対する関心や理解を深め、地域の文化振興を図るため、個性豊かな芸能などを紹介する「沖縄市文化芸術祭」などのイベントを開催します。

また、市民が企画・運営する舞台公演などの文化芸能活動を支援しています。



図書館機能充実事業 (予算額：約1810万円)

図書資料の充実やサービスの利用しやすさなど、沖縄市立図書館の機能を向上させることにより、学びの意欲に答えやすく、主体的な学びを促進するための事業です。

令和3年2月より電子図書館を導入し、利用しやすい図書館づくりを進めています。





沖縄市電子図書館

お持ちのパソコン・スマートフォン・タブレット等からご利用いただけます。

※ご利用にはインターネット接続環境が必要になります。

↓↓詳しくはHPで↓↓

<https://www.d-library.jp/okinawa>



Ⅱ 夢を抱き 未来を拓く こどものまち

児童館等整備事業（予算額：約1255万円）

みんな～！児童館って知ってる！？無料で使えていろんな遊びや学びができる、こどもたちのための施設なんだよ。

ゆうぎ室っていう体育館みたいなところがあってバスケットボールやバレーボール、ドッチボールとかみんなが大好きな遊びができちゃうんだ！さらに図書室には絵本や図鑑などもたくさんあってとっても面白いよ～！しかも赤ちゃんがお父さんやお母さんと一緒に遊べるプログラムもやってるんだ！

そんな素敵なこどもたちのための児童館をもっと沖縄市に増やすための事業となっています。



Ⅱ 夢を抱き 未来を拓く こどものまち

こどもの居場所支援事業（子供の貧困対策）

（予算額：約1億3886万円）

こどもを対象とした食事支援、学習支援等を行うこどもの居場所の運営を支援し、放課後のこども達の居場所づくりを進めていきます。

また、こども達への支援が速やかに行き届くよう、支援員によるマッチングを図っていきます。



若年妊産婦の居場所事業（予算額：約3126万円）

18歳以下の妊産婦とその子を対象に、妊娠・出産・育児に関する相談・指導や食事の提供等を行います。若年の妊産婦が家庭や社会から孤立することなく、安全・安心な居場所で産前・産後が過ごせるようにし、自立に向けた仕事の相談なども行います。居場所では、助産師、保育士、栄養士、社会福祉士が相談・支援にあたります。



Ⅱ 夢を抱き 未来を拓く こどものまち

学力向上推進事業（予算額：約1億470万円）

「夢や希望の実現に向かって歩み続ける幼児児童生徒の育成」をテーマに、主体的・対話的で深い学びとなる授業の充実をめざして指導方法の改善に取り組み、確かな学力の定着と教職員の指導力向上を支援する事業です。

主に、各種支援員の配置や学力調査の実施、英検等検定料の補助を行っています。



第2調理場改築事業（予算額：約30億3538万円）

市北部の小中学校に学校給食を提供している第2調理場は、昭和55年から使われていますが、調理場は狭く、建物や器具は古くなっています。

第2調理場を新しく建て替え、より安全安心な学校給食を提供するとともに、公立幼稚園への給食提供や、食物アレルギー対応のサービス向上を行います。

令和3年度は建築工事や厨房機械器具等の整備を進めていき、令和4年度の供用開始を予定しています。



Ⅲ ともに生きる心が広がり いきいきと暮らせるまち

生活困窮者自立支援事業（予算額：約1億3318万円）

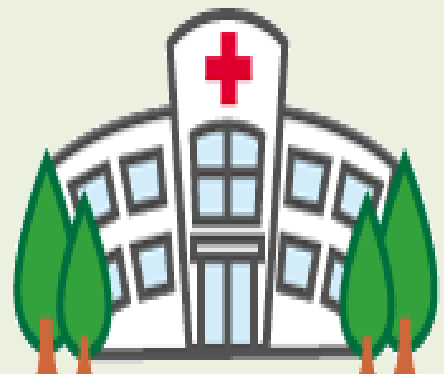
沖縄市内に居住している方で失業等により経済的な問題で生活に困っている方、また、働くことに不安を抱えている方、住居を失うおそれのある方（または喪失された方）、家族のことで悩んでいる方など、生活や就職の問題を抱えている方々への相談窓口として「沖縄市就職・生活支援パーソナルサポートセンター」を設置しており、様々な事情を抱えた相談者に寄り添いながら自立に向けた支援を行っています。



予防接種事業（予算額：約1億5223万円）

国が定める高齢者の予防接種を実施することで、接種者数の増加に取り組み、感染症による重症化と死亡のリスクを軽減するとともに、医療費の負担軽減を図ります。

また、こどもの麻しん・風しんの予防接種を受けていない子ども達に接種する機会を提供し、感染症のまん延防止及び感染による合併症のリスクの軽減を図ります。



Ⅲ ともに生きる心が広がり いきいきと暮らせるまち

健康づくり推進事業

(予算額：約969万円)

「みんなでいきいき健やかに暮らせる社会」をめざし、元気に日常生活を送ることを目標に、生活習慣病を予防するための健康づくりを支援しています。

ウォーキングや、健診を受けることで健康ポイントが貯まり、特典へ応募できる、スマートフォンを活用した「おきはくん健康ポイント事業」を実施しています。また、健康づくり講演会を開催し、市民のみなさまへ体や心の健康づくりの大切さをお伝えしています。

この他、骨髄移植のドナーとなる人の経済的負担軽減や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのポスター等を作成し、広報誌・SNSやホームページなどでお知らせしています。



IV 人と産業の成長を支え 発展し続けるまち

沖縄アリーナ推進事業（予算額：約35億3257万円）

琉球ゴールデンキングスのホームゲームやコンサートなど、これまで沖縄で見ることが出来なかったイベントが開催される県内最大となる、一万人規模のアリーナが、令和2年度に完成しました。県内外から人々が集う施設とするため、駐車場等を含めた周辺環境の整備を進めています。



IV 人と産業の成長を支え 発展し続けるまち

F I B Aバスケットボールワールドカップ2023機運醸成事業 (予算額：約1015万円)

2023年、沖縄アリーナで開催される、バスケットボールの世界大会『FIBAバスケットボールワールドカップ2023』の成功に向け、イベントの開催や街全体で盛り上げる取り組みを行っています。



(仮称) 沖縄サーキット整備事業 (予算額：約3912万円)

モータースポーツを沖縄市の新たな観光資源とするため、サーキット整備に向けた取り組みを行っています。

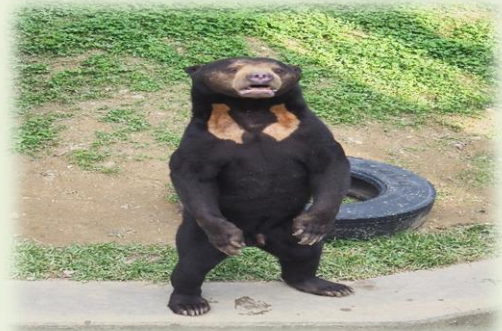
モータースポーツの楽しさを多くの人に知ってもらうため、「コザモータースポーツフェスティバル」の開催を支援するとともに、新たに完成した「モータースポーツマルチフィールド沖縄」では、様々なモータースポーツを行うことができる施設となっております。



IV 人と産業の成長を支え 発展し続けるまち

沖縄こどもの国整備事業（予算額：約13億1967万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物の園舎や自然科学などを楽しみながら学べる施設を整備することで、県内や県外、国外からも多くの方々が来園するような、日本一ユニークな施設づくりに取り組んでいます。



創業・起業総合支援事業（予算額：約3970万円）

沖縄市の中心市街地（一番街）に起業家支援拠点「Startup Lab Lagoon（スタートアップラagoon）」において、「ビジネスを始めたいけど、どうしたらよいかわからない。」「ビジネスアイデアはあるけど、ニーズがあるかわからない。」といった、起業前の方に対して、起業に必要な知識や資金集め、起業後の販路拡大等、様々な相談に対し丁寧なサポート・アドバイスをを行います。また、AIやIOT、ICT技術を担う人材の育成に取り組んでおり、3Dプリンタやレーザーカッターなどを使った新しいものづくりも体験できます。



IV 人と産業の成長を支え 発展し続けるまち

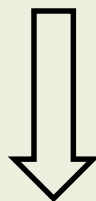
スポーツツーリズム推進事業（予算額：約1995万円）

沖縄市では、「スポーツコンベンションシティ」を宣言し、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりを行っています。

スポーツツーリズム推進事業とは、スポーツを『観る(観戦)』『する(楽しむ)』ための移動だけではなく、周辺の観光要素や、スポーツを『支える』人々との交流や地域連携を付加した旅行スタイルを提案し、スポーツと観光を融合した、沖縄市の新たな魅力を発信し、観光誘客を図る事業となっています。

沖縄市がホームタウンである、FC琉球や琉球ゴールデンキングスなどプロスポーツ観戦時に、市内の店舗を案内することや、アウェーでの試合においても、沖縄市の魅力をPRし、県外・市外から観光誘客を図る取り組みを行っています。

「スポーツツーリズム実証業務委託」



スポーツコンベンションシティの推進
及び
スポーツと観光を融合したスポーツツーリズムによる観光客誘客

V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

地域防災対策事業（予算額：約1億4292万円）

さまざまな災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを目指します。

地震や津波などの災害に備え、災害用備蓄品（食糧、飲料水等）の整備、避難所などへの誘導標識を設置しています。

また、地域防災力強化と市民の防災意識向上のため、自主防災組織の結成及び育成を進め、防災資機材などの配備を行っています。



公園整備事業（予算額：約3億4472万円）

公園は、市民の憩いの場だけではなく、自然との触れ合いや自然環境の保全、地震などの災害時に避難場所としての役割があります。そのため、安全・安心で快適にすごせるまちづくりを目指した公園整備をおこなっています。令和3年度は、比屋根公園の整備工事を行っています。



V 環境と調和し 安心して住み続けられるまち

公共交通活性化推進事業（予算額：約5957万円）

路線バスは、市民生活の足として重要な役割を担っていますが、自家用車普及などにより、バス利用者が減少し、バス路線の廃止や便数が減るなど、ますますバスを利用しにくい状況になりつつあります。

本事業では、バス事業者や関係機関等と連携を図りながら、路線バスの利用者を増やすための取組を行うとともに、沖縄市循環バスと称して市内のコミュニティバスを運行しており、市民の生活利便性の向上を図っています。



東部海浜地区開発事業（予算額：約4032万円）

スポーツコンベンション拠点の形成に取組むとともに、県内最大級のビーチを活かしたビーチフロント観光拠点の創出を目指します。また、PRイベントによる事業周知を図っています。

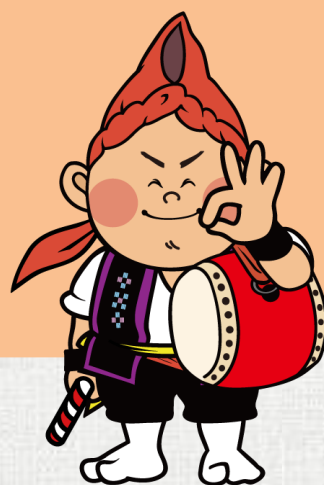


6. よさんが分かった♪

ここまで来れば君も予算が分かった！よね？
難しくて、ややこしそうな「予算」だけど、
中身をのぞいてみると、とっても大事なものな
んだってことが分かったはず。

市民のみんなから預かったお金が「予算」に
なって、学校や道路、公園を作ったり、家から
毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っ
ているんだ。

だから、これからも自分たちが負担したお金
が、何に使われているのかをちゃんと知って、
これから自分たちが何に使いたいの
かをみんなで決めていこう！そして、
自分たちの住むまちを、もっと便利で
安全な住みやすいまちにしていこう♪



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>